

2023 年 9 月 13 日

各 位

SBS リコーロジスティクス株式会社

SBS ホールディングス株式会社

次世代型車両初号機の納車式を開催 —サステナビリティ目標達成に向けてEV導入を加速します—

SBS リコーロジスティクス（代表：若松勝久、本社：東京都新宿区）は9月11日、フォロフライ株式会社（社長：小間裕康、本社：京都府京都市）が提供する次世代型EV車両「F1VAN」初号車の納車式を「物流センター沼津第一」（静岡県沼津市双葉町）にて執り行いました。



この度導入した「F1VAN」は、2021年10月に、物流業界に先駆けてSBS即配サポート株式会社にて試験運用を開始し、フォロフライと共に日本の気候や安全基準に合わせた快適性、実用性の向上に取り組んでまいりました。2年に及んだ試験運用による改良を経て、今回次世代型車両本格導入の第一号となりました。

本車両は1トンクラスの商用EVバンです。フル充電時の走行可能距離は、ラストワンマイル配送において一般的に必要なとされる100kmの基準をクリアした300km以上を達成。頻繁に停止・発信を繰り返す市街地での配送を想定したテストにおいても200km以上の走行を実現しています。また、システムにより車両の所在地や電池残量、充電状態等の情報を管理し、さらに今後はテクノロジーを活用した電池劣化診断、劣化予測等を一元把握することで、より効率的な物流オペレーションを可能にします。



納車された次世代型EV車両



挨拶をする社長の若松勝久

SBS リコーロジスティクス社長の若松勝久は、EV車両導入時に三つの障壁があったとしました。一つ目はガソリン車と比較した際の「コストの壁」、二つ目は1回の充電で1日の配送を賄う為の「バッテリー性能の壁」、三つ目は中国を始めとした海外向け仕様を日本に合わせる「使い勝手の壁」と述べ、さらに「今回この障壁をクリアする所までようやくたどり着きました。本取組はSBSグループのみならず日本における商業EV車両拡大のきっかけになると考えています。」と語りました。

SBSグループは、中期経営計画「SBS Next Stage 2025」において、「環境に配慮した物流施設・輸配送体制の整備」を掲げています。今回の納車は中期経営計画の実行を促進するものであり、これを皮切りに次世代型EV車両の導入をSBSグループ全体で展開してまいります。

以 上

■ご参考

＜SBSグループ概要＞（2022年12月末時点）

持株会社：SBSホールディングス株式会社（SBSグループ持株会社）

設 立：1987年12月

代 表 者：代表取締役社長 鎌田 正彦

上 場：東京証券取引所プライム市場（証券コード：2384）

本社住所：東京都新宿区西新宿8丁目17番1号 住友不動産新宿グランドタワー

資 本 金：39億円

売 上 高：4,554億円（連結、2022年12月期）

従業員数：22,829名（うち正社員11,970名、連結）

事業内容：SBSグループは、1987年の創業以来、物流ならびに物流に付帯するサービスを充実させ、ワンストップの物流サービスをご提供することで、お客様の利益創造に貢献してまいりました。グループ内には、食品から超重量物までさまざまな商品を扱う企業群、路線、区域、即日配送まで多様な配送形態にお応えできる企業群、そして、物流施設開発、環境物流などの専門的な企業群を有しています。

U R L：<https://www.sbs-group.co.jp>

■本件に関するお問い合わせ先

SBSホールディングス株式会社 IR・広報部

e-mail：contact11@sbs-group.co.jp

※ 当資料に掲載されている情報は、発表日現在の情報です。その後予告なしに変更されることがございますので、あらかじめご了承ください。